

憲法9条ねっと

発行者:みなと医療生協「九条の会」事務局 連絡先:熱田区六番2丁目7-19 大川浩正方(FAX)651-6309

60年前の記憶は今でも鮮明に思い出される

「戦争体験を聞き、すいとんを食べる会」

みなと医療生協「九条の会」山崎幸恵



60年前日本で、私たちのおばあさんやおじいさんの身に何が起きたのでしょうか。

1月22日(土)レイブセンター7階で、『戦争体験を聞き、すいとんを食べる会』を行いました。

寒い中、53名の方が参加していただきました。今回は、中川区在住の雑賀(さいが)信二郎さんに、戦争体験を話していただきました。

60年前のことですが、昨日のことのように細かいことまで鮮明にお話してくださいました。「白鳥橋の下に逃げ込んだ方はほとんど亡くなっていた。船方の電停(当時)にできた10メートルの爆弾の穴が血の池になり、そこには人の足が浮いていた...。助けてくれとしがみつくと人を振りきって逃げた。人間的に情けない思いでいっぱいだ...」「戦争というのは、兵器を持った者同志の闘いではない。老人、子ども、市民が犠牲になるのが戦争だ...」戦争によってうけた体と心の傷跡は深いと感じました。

この方のように多くの人々の悲しみの上に、今の日本の平和憲法ができたこと、それを変えようとするのは、その悲しみを踏みにじることだと思いました。この60年は、日本が戦争をしないことを選んだ、不戦60年であることを誇りにしたいと思いました。お話を聞いた後、2種類のすいとんを食べました。当時の味に似せたものと、おいしいすいとんです。このすいとんは、診療所のボランティアの方々を中心に作っていただきました。どちらもとってもおいしかったです(笑)。まずく作るの難しいとのことでした。

『戦争体験を聞き、すいとんを食べる会』感想

2005年1月22日(土)レイブセンター7階 53名参加 お話:雑賀信二郎さん

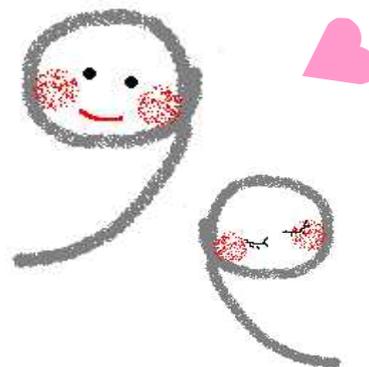
おそろしい戦争は絶対起こしてはいけません。孫子の代まで平和な世の中が続きますよう小さな力ですが、自分にできることをしていきたい。すいとんとてもおいしかったです。

すいとんご馳走様でした。私の脳裏に刻まれている、戦争時代を思い出しました。余命少ない私ですが、九条の重要性を沢山の人(子孫)にしっかりと伝えたいと思います。77歳

許されることならば中学、小学生の方々に聞いていただきたいですね。一回でも授業として一時間くらいでよいですが。

私は大切な友人を二人亡くして残念でした。(私の代わりに船方工場へ応召手当てのお仕事で、その日身代わりになって下さったのです)雑賀先生から本当に良いお話を聞かせていただき、戦

この会の様子はHPでご覧ください。



争絶対反対、憲法九条を守り平和を貫きたいです。

雑賀さんの話をお聞きして、体験したことのない私ですが、そのときの状況がありありと思ひ浮かび、一緒に逃げ惑う私がいいたような気分になりました。不戦の60年がいかに平和な世の中だったか、改めて平和憲法の大切さと、どんなことをしても守り抜かなければと思いました。

今日は大変良い話を聞かせて頂きました。私は十八年生まれで、戦争の事はほとんど知りませんでした。こんな生々しいお話を聞いたのは初めてでした。又こんな機会がありましたら、ぜひ聞かせて頂きたいです。ありがとうございました。すいとん大変おいしかったです。

この他にもたくさんの感想が寄せられました。ありがとうございました

みなと医療生協「九条の会」のHP (ホームページ) が完成!

アドレス <http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>
これまでの活動経過やタペストリー作成の様子、過去の「九条NET」をみることができます。どしどしアクセスしてください。

みなと医療生協「九条の会」の組織状況

会員 315名 (賛同人40名)

みなと医療生協「九条の会」の行動と今後の予定

2月14日 バレンタイン行動

「会」の宣伝、タペストリー掲示 (病院)

3月13日 医療生協活動交流集会

紙芝居「戦争のつくりかた」

「会」の取り組み報告 etc. . .

6月25日~26日

長野「無言館」への旅

9月 平和コンサート

*1月22日 (土)

あいち「九条の会」も発足しました

愛知県内の様々な団体・組織・個人によって、あいち「九条の会」も発足しました。

平和な世界を希求して 憲法九条を考える



日本の憲法を「一國平和主義」という人がいます。しかし、すでにパリの不戦条約 (1928年) に謳われた戦争が違法であるという理念が、反ファシズムのたたかいとともに国連憲章の中に結実しています。そして、その影響のもと、100以上の国々の憲法が「平和条項」を持つています。その代表が日本国憲法です。「戦争の放棄」は、アメリカ (GHQ) の押付けでもなく、「一國平和主義」でもなく、世界の理想から常識になろうとしてい

日本国憲法は世界の常識

このコーナーは、なぜ今「憲法九条」を変えようとしているのか? その狙いはどこにあるのか? そしてその先にあるものは何か、をしっかりと学習します。

～お知らせ～

この「九条ねっと」への皆さんからの投稿をお待ちしています

学習用ビデオ「憲法 今と未来の世代のために」 (30分、憲法ビデオ製作実行委員会/共同企画) があります。地域で職場でどしどし活用しましょう。詳しくは、事務局 (本部職員: 大野、西村) までご相談下さい。

実行委員大募集! 只今、6月25日~26日の「無言館」への旅の実行委員を大募集しています。

「アジアの平和の流れを大きく」
今、アジアでは、大きな平和の流れがすすんでいます。憲法を改悪することは、そのアジアの国々と手を結ぶことをやめることです。これでは、アジアからもそして世界からも日本は取り残されます。
「憲法九条」は、世界の人々の願いから生まれ世界の人々の希望なのです。

(学習の友別冊 2004・5月発行より一部抜粋)